

ピコハウスが、BD 簡易オーサリング/ライティングシステム Easy3D を発表

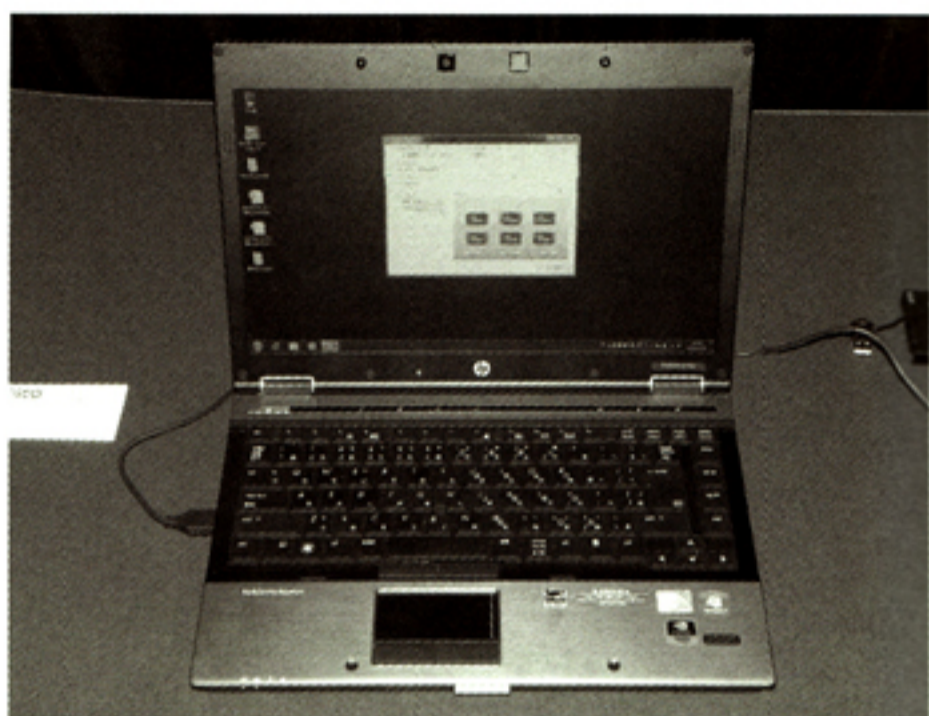
ピコハウスは、9月16日、BD簡易オーサリング/ライティングシステム Easy3D (イージー・スリーディー) を発表した。9月29日には、国内総販売代理店を務める三友により、パナソニックデジタルソフトラボのシアタールームにおいて「Easy3D発表セミナー」も開催され、デモが披露されている。

Easy3Dは、「Blu-ray 3D」規格に対応したBD-Rディスクを、わずか数ステップの操作で作成できるシステム。BDドライブ搭載のノートPCにEasy3Dソフトウェアをインストールしたターンキーとして提供される。

入力ファイル形式はAVCHDとなっており、映像は1920×1080/23.98pおよび1280×720/59.94p, 50p、音声はDolby Digital AC-3、リニアPCMに対応。AVCHDで作成された左目用および右目用のフルHDデータを取り込み、BDの簡易オーサリングとライティングを行うことができる。取り込みの過程で、3D再生に必要なストリームを再エンコードせずに作成することができ、データ作成時間を短縮することが可能だ。

また、パナソニックの一体型二眼フルHD 3Dカメラレコーダー AG-3DA1で撮影したデータにも対応しており、メモリーカードに同時に記録されているサムネイル画像などのメタデータを取り出して、メニュー画面に反映することもできる。

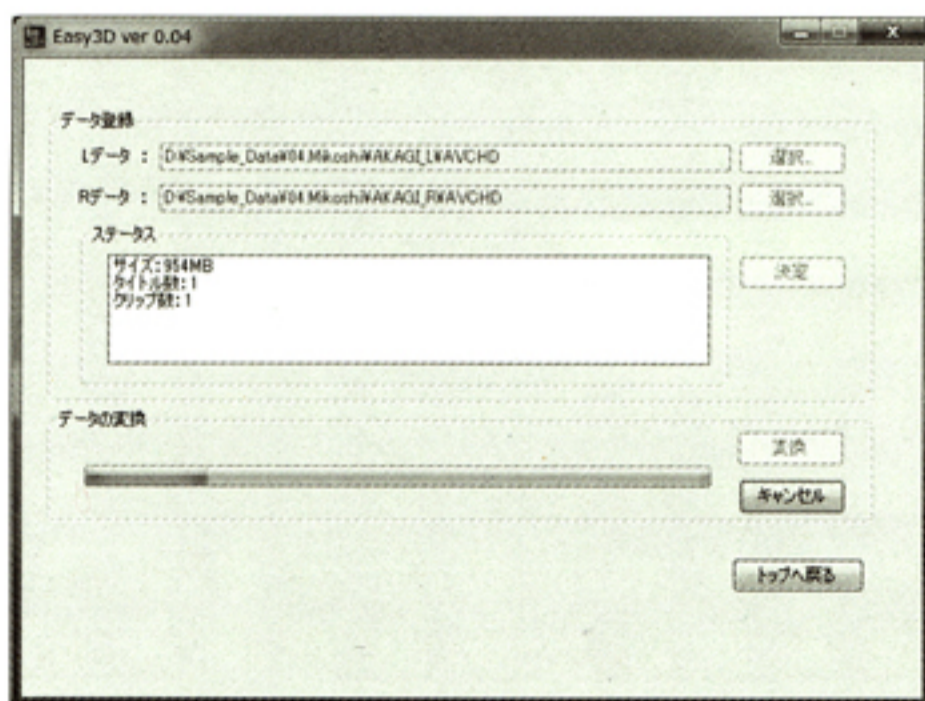
メニューはテンプレートも用意されており、背景やボタンイメージを選択して、取り込んだデータを自動的に配置するだけで、特別な知識がなくとも短時間で簡単にメニューオーサリングを行うことが可能。BD-Rディスクへの書き込みに関してはUDF 2.6に対応し、LOW (Logical Over Write) の機能を利用した追記や上書きも実現している。



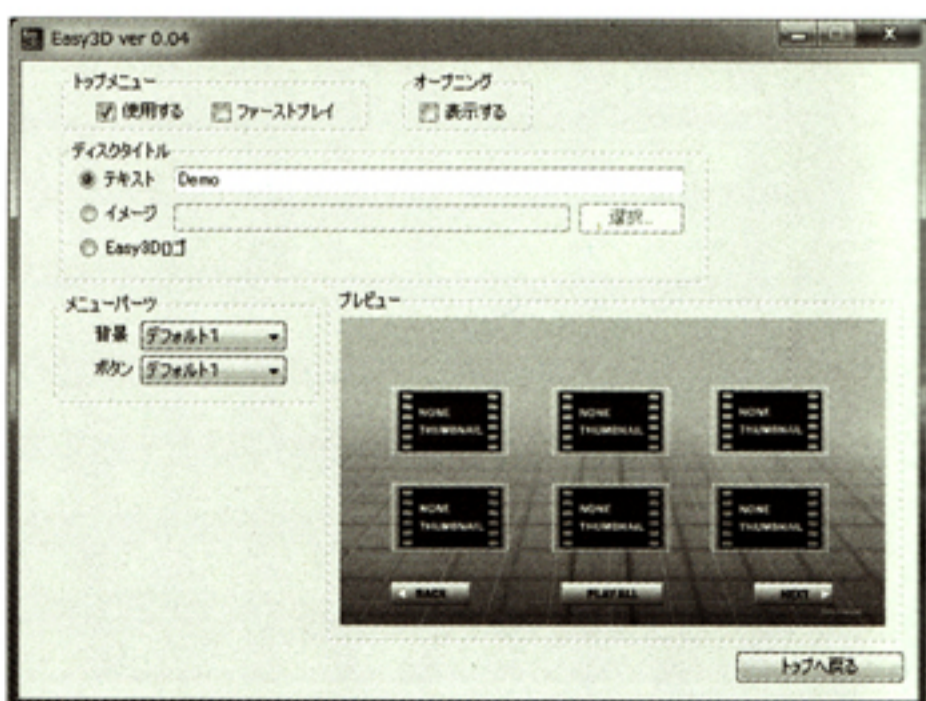
Easy3DはノートPCによるターンキーシステムで提供される

ピコハウスでは、同社のデザイン部門が作成したメニュー用素材の提供と、ユーザーの要望に応じて専用のメニューデータの作成を行うカスタマイズメニュー作成サービスを有償で後日開始する予定。また、ユーザーが作成したBlu-ray Disc希望の枚数で複製するコピーガード対応のディスクデュプリケートと、作成した3DコンテンツをBlu-ray 3D規格に準拠したBD-ROMとしてオーサリングおよびプレスするサービスについても、Easy3Dのリリースに合わせて開始する予定となっている。

価格：¥189万(税別) 発売：2010年10月下旬 問い合わせ先：製品に関して；ピコハウス 開発部 TEL 03-3266-8855、<http://www.pico-house.co.jp/> 販売に関して；三友営業本部 営業開発部 TEL 03-3463-1601、<http://www.mitomo.co.jp/>



入力対応フォーマットはAVCHD。同フォーマットで作成された左目用および右目用のフルHDデータを取り込む



取り込んだデータを自動的に配置するだけで、特別な知識がなくとも短時間で簡単にメニューオーサリングが可能